

DRV-G50W

前後録画対応 2 カメラドライブレコーダー

取扱説明書 取付説明 / 保証書付

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、本書をよくお読みのうえ、説明の通り
正しくお使いください。

また、本書は大切に保管してください。

本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用する
ことはできません。

株式会社 JVCケンウッド

もくじ

安全上のご注意 (必ずお読みください).....	3
使用上のご注意.....	9
取り付け / 配線のしかた.....	12
主な仕様.....	20
保証とアフターサービス.....	21
保証書.....	24

※ 本書に操作方法は掲載されていません。

操作方法についてはユーザーズガイドをご覧ください

スマートフォンやタブレット、パソコンなどでご覧になれます。

https://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/drv_g50w/



My-Kenwood (ユーザー登録) のご案内

お買い上げいただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品の
サポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。

下記ウェブサイトにて会員規約をご確認になり、My-Kenwood をご利用ください。

<https://jp.my-kenwood.com>

はじめにお読みください

説明書の構成について

本製品の説明書は、以下のように提供しています。

■ 取扱説明書（本書）

本機を安全にご使用いただくためのご案内や車両への接続、取り付け方法などを説明しています。

■ ユーザーズガイド

本機の操作方法や、故障と思われる場合の解決方法などを説明しています。ユーザーズガイドには、ウェブブラウザで閲覧できるWeb版と、PDFビューワーで閲覧できるPDF版があります。ユーザーズガイドは、スマートフォンやタブレット、パソコンなどで、以下のウェブサイトから閲覧できます。（通信費はお客様のご負担となります）
https://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/drv_g50w/



本機のサポート情報について

■ 本機の最新情報はこちら

ファームウェアのバージョンアップ情報など本機の最新情報を掲載していません。

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/>



■ FAQ（よくあるご質問）

以下のウェブサイトでは、本機についてのお問い合わせの内容を掲載しています。ユーザーズガイドの「故障かなと思ったら」と合わせてこちらもご覧ください。

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/faq/>



故障と思われる場合について

故障と思われる症状が発生した場合は、まずユーザーズガイドの「故障かなと思ったら」を参照して解決方法がないかお調べください。

もし、解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンター（裏表紙）にご相談ください。

商標について




- ・本製品はAVC Patent Portfolio Licenseに基づき、以下の用途のみライセンスされています。
 - 1) 消費者が個人的かつ非営利目的で、MPEG-4 AVC規格に準拠する動画（以下、AVC Video）を記録する場合
 - 2) AVC Video（消費者が個人的に非営利目的で記録したもの、またはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダが記録したもの）を再生する場合

安全上のご注意（必ずお読みください）




- 本機の取り付け、配線、操作を始める前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 危険	人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意（しなければならない）の内容です。
	禁止（してはいけない）の内容です。
	実行（かならず行っていただく）の内容です。

● 免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

● 著作権について

- ・録画・撮影・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- ・鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。

安全上のご注意（必ずお読みください）

内蔵電池について（本機は充電式電池を内蔵しています）

危険



本機（内蔵電池）の取り扱いに注意する

本機は充電式電池を内蔵しています。次のことを必ず守ってください。

- 分解・改造しない
- 加熱したり、火の中に入れたりしない
- ダッシュボードなど直射日光の強いところや炎天下の車内などの異常に高温となる場所に放置しない

内蔵電池が発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。



内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する

本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- 内蔵電池を加熱したり、分解・改造したり、火や水の中に入れてはいけない
- 内蔵電池を火のそばや炎天下などに置かない
- 内蔵電池のコネクターに絶縁テープをはる

発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。

警告



内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する









本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。

- 内蔵電池は、幼児の手の届く場所に置かない
- 内蔵電池の液がもれて目にはいったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の治療を受ける










けがや事故の原因となります。




取り付けや配線について

警告




-  **本機は DC12V/24V ⊖アース車以外で使用しない**
火災や故障の原因になります。DC12V/24V ⊖アース車以外で使用しないでください。
-  **エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしてない**
エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。
-  **取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない**
交通事故やケガの原因となります。
-  **視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない**
交通事故やケガの原因となります。
-  **本機は保安基準の取り付け許容範囲外に貼り付けない**
視界不良や本機がはずれて、事故の原因となります。
-  **取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する**
取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をするると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
-  **説明書に従って取り付け・配線をする**
火災や故障の原因となります。作業は手順どおりに正しく行ってください。
-  **必ず付属の部品や指定の部品を使用する**
機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

安全上のご注意（必ずお読みください）

-  **作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する**
車体に穴を開けて取り付けの場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。
-  **コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する**
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。
-  **車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する**
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。
-  **コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する**
被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。
-  **取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する**
車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。
-  **ネジなど小物部品や microSD カードは乳幼児の手の届かないところに置く**
あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
-  **本機に付属のシガープラグコードを使用する**
付属以外のシガープラグコードを使用すると、火災、感電の原因となります。
-  **シガープラグは、確実に差し込む**
確実に差し込めない場合、接触不良により火災、感電の原因となります。
-  **シガープラグを抜くときは、プラグを持って抜く**
コードが破損し火災、感電の原因となります。


-  使用後または長時間使用しないときは、シガープラグを抜く
車種によってエンジンを切ってもシガーライター電源が切れない場合があります。火災やバッテリー上がりの原因となります。
-  シガープラグは定期的に清掃する
ほこりが付着していると火災の原因となります。
-  めれた手でシガープラグを抜き差ししない
感電の原因となります。

注意







-  水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない
水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
-  機器の通風口や放熱板をふさがない
機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
-  コードの扱いに注意する
コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法について



警告

-  分解・修理および改造はしない
分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

安全上のご注意（必ずお読みください）

-  **音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない**
車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。
-  **機器内部に、水や異物を入れない**
金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。
-  **故障や異常な状態のまま使用しない**
画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してシガープラグを抜いてください。事故や火災、感電の原因となります。
-  **運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない**
必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。
-  **雷が鳴り出したら、シガープラグコードや本機に触れない**
落雷による感電の原因となります。
-  **ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する**
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口
に依頼してください。

⚠ 注意

-  **本機を車載用以外で使用しない**
発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。
-  **走行前に本機の取り付け状態を点検する**
本機の脱落、落下等により、けがや交通事故の原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

警告



異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

注意



落としたり使用を中止する

機器を落としたり、強い衝撃が加わったりした場合は、内蔵電池が損傷している恐れがありますので、使用を中止し、点検・修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

使用上のご注意

ご使用の前に定期点検する

- ご使用の前に、角度調整ネジの緩み、両面テープのはがれなどがなく、定期的に点検を行ってください。運転の妨げや事故の原因となることがあります。

取り付けについて

- 誤った取り付けをした場合は、本機が正しく動作しないことがあります。取り付け方向、取り付け角度など「取り付け / 配線のしかた」(P.12)を参照して本機を正しく取り付けてください。

ご使用について

- もしものときに備えて、本機の録画機能が正しく働いているか定期的に確認してください。本機で録画した microSD カードの映像を本機またはビューアソフト「KENWOOD ROUTE WATCHER II」で再生し、最新のファイルが録画されているかなどの確認を行ってください。映像の再生方法は、「ユーザーズガイド」(P.2)をご覧ください。
- カメラのレンズをふさいだり、汚したり、レンズの近くに反射物を置かないでください。

使用上のご注意

- ・車両のフロントガラス/リアガラスにコーティング剤が使用されている場合は、録画品質に影響が出る可能性があります。
- ・本機が応答しなくなった場合は、電源を入れ直してください。電源を入れ直すには本機の底面にあるリセットボタンを先端が細い爪楊枝等で押します。電源が切れて、再度オンになります。リセットボタンの位置は、「ユーザーズガイド」(P.2)の「各部の名称とはたらき」をご覧ください。
- ・LED 信号機の色が認識できなかつたり、ちらついたりする映像が記録される場合がありますが、本機の故障による症状ではありません。信号機の識別や記録に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・本製品は、あらゆる状況においての映像の記録を保証するものではありません。

電源について

- ・本機の動作電源電圧は DC12V/24V です。必ず付属のシガープラグコードまたはドライブレコーダー用車載ケーブル CA-DR100 (別売品) を使用し接続してください。ケーブルの改造 (バッテリーに直接つなぐ) などは絶対に行わないでください。

内蔵バッテリーについて

- ・本機は時計のバックアップをするためのリチウム二次電池を内蔵しています。
- ・購入直後はバッテリーが十分に充電されていません。時刻がリセットされるときは、本機の電源を 1~2 時間オンにして充電してください。

衛星受信について

- ・衛星信号は、固体物質 (ガラスを除く) を通過することができません。トンネルや建物の中にいる場合、衛星信号の受信ができません。衛星信号の受信は、悪天候や密集した頭上の障害物 (例えば、樹木、高架橋または高層ビル) などの影響を受ける可能性があります。

本機のお手入れ

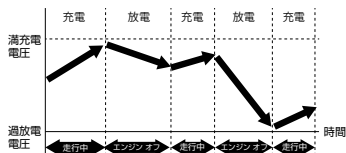
- ・本機が汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり変形や変質、破損の原因になります。
- ・レンズ部が汚れている場合には、柔らかい布で軽く拭いてください。強くこすると傷の原因になります。
- ・ご使用前にブラケットの接着面がはがれていないか、また、ネジの緩みなどがないことを確認してからご使用ください。

個人情報について

- microSD カードに記録されるファイルには、ご自身や同乗者および車外に撮影された第三者に関わる映像や音声、位置情報などの個人情報が含まれています。本機を廃棄 / 譲渡する場合は、必ずお客様自身によってデータを消去し、確認してください。個人情報の消去は、「ユーザーズガイド」(P.2) の「個人情報削除」で行うことができます。当社では未消去のデータの流出による損害等について、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機の個人情報消去機能は microSD カードに記録されたすべてのデータを消去しますが、消去した microSD カードから元のデータが復元されないことを完全に保証するものではありません。データをより確実に読み出せないようにしたい場合は、microSD カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使って microSD カード内のデータを完全に消去することをお勧めします。

駐車録画について

- 本機は車両の電源を常時使用しているため、車両のバッテリーに対して負荷がかかります。長期間車に乗らない場合や短距離の運転を繰り返すと、車載機器の消費電力により徐々にバッテリー電圧が低下してしまいます。(下図) バッテリー上がりを防止する為に、こまめに車のエンジンをかけてバッテリー電圧が下がらないように心がけてください。



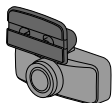
- 車両に取り付けられた他の電装品の暗電流や使用環境によってもバッテリーに負荷がかかり、バッテリー上がりを起こす原因になります。本機の電圧カットオフ値を設定するにはご注意ください。設定方法は、「ユーザーズガイド」(P.2) の「電圧カットオフ値」をご覧ください。
- 車両のバッテリー上がりについては、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。ご使用ください。

取り付け / 配線のしかた

本体 / 付属品

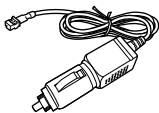
メインユニット
(32GB microSD
カード挿入済)
× 1

リアカメラ
(ブラケット付き)
× 1



シガープラグコード
(3.5m) × 1

リアカメラケー
ブル (9.0m)
× 1



メインユニット
取付ブラケット
× 1



- microSD カードは消耗部品です。消耗部品の交換は保証期間内でも有料になります。

取り付け時のご注意

メインユニット / リアカメラ共通

- 運転者の視界の妨げにならない位置に取り付けてください。
- 他の車載機器 (安全支援システム用カメラや防眩ルームミラーなど) に影響を与えない位置に取り付けてください。詳しくは車両の取扱説明書を参照してください。
- 運転やエアバッグ動作の妨げにならないように取り付けてください。
- 車両のフロントガラスが、反射コーティングで着色されている場合、電波を伝えにくくなり、衛星受信に影響を与える可能性があります。
- 取り付け後、車両電装品が正常に働くか、必ず動作確認を行ってください。
- 取り付け後、カメラレンズの保護シートを取り外してください。→「カメラレンズの保護シートをはがす」(P.16)
- ケーブル類は運転操作の妨げにならないように市販のソフトテープなどでまとめてください。
- ラジオアンテナの近くに取り付けおよび配線しないでください。ラジオの受信感度の低下やノイズの原因になる可能性があります。
- 本機や本機の電源配線を地上デジタルテレビ受信アンテナの近くや、電装品の近くに取り付けおよび配線しないでください。テレビの受信感度の低下やちらつき、ノイズの原因になる可能性があります。

メインユニット

- ・フロントガラス全体の上部 20%の範囲内、または運転者の前方視界を妨げない位置（ルームミラーで隠れる位置）に取り付けてください。
- ・ルームミラーの操作の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ・車検証ラベルなどに重ならないように取り付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲に入るように取り付けてください。ガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより、映像が見づらくなることがあります。

リアカメラ

- ・直接リアガラスに取り付けてください。
- ・リアガラスに熱線がある場合は、熱線を避けて取付ブラケットの接着面を貼り付けてください。
- ・ワイパーが装着されている場合、ワイパーの拭き取り範囲に入るように取り付けてください。ガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより、映像が見づらくなることがあります。

取り付け手順



- ・取り付けの際に電装部品や車両部品を外す必要がある場合、安全のためバッテリーの⊖端子を外してから作業を行ってください。

1. 水平で安全な場所に車両を駐車する

2. 車両のエンジンスイッチを「オフ」にしてバッテリーの⊖端子を外す
3. 推奨取り付け位置を参考にメインユニットとリアカメラの取り付け位置を決める
→「メインユニット」(P.17)
→「リアカメラ」(P.18)
4. 付属のリアカメラケーブルとシガープラグコードを接続し、仮配線する
→「接続する」(P.15)
5. バッテリーの⊖端子を接続する
6. 車両のエンジンスイッチを「ACC」または「オン」にして本機の電源が入ることを確認する
7. メインユニットとリアカメラの映像を確認して、取り付け位置と角度を決める
8. 車両のエンジンスイッチを「オフ」にして本機の電源を「オフ」にする
9. バッテリーの⊖端子を外す
10. メインユニットとリアカメラを取り付ける
→「メインユニットを取り付ける」(P.14)
→「リアカメラを取り付ける」(P.15)
11. 付属のリアカメラケーブルとシガープラグコードを接続し、配線する

取り付け / 配線のしかた

12. バッテリーの⊖端子を接続する

13. 車両のエンジンスイッチを「ACC」または「オン」にして本機の電源が入ることを確認する

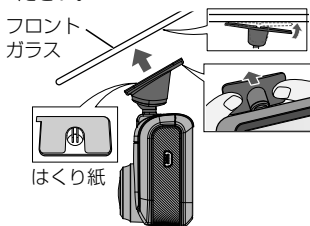
14. メインユニットとリアカメラの映像を確認して、角度を調整する
→「カメラ調整」(P.16)

2. 「メインユニット」(P.17)の推奨取り付け位置を参考にしてメインユニットの取り付け位置を決める

3. 市販のクリーニングクロスなどで取り付け場所の汚れや脂分をきれいに拭き取る

4. 取付ブラケットの両面テープのはくり紙をはがし、フロントガラスに押しつけて取付ブラケットを貼り付ける

気泡が入らないように貼り付けてください。

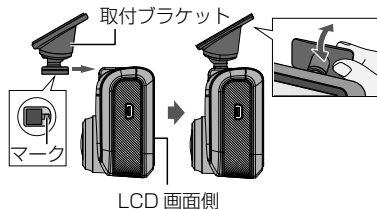


- 両面テープの取り付け強度を強くするため、取り付け後24時間以上放置してから使用してください。
- 一度はがした両面テープは再利用できません。

メインユニットを取り付ける

1. 取付ブラケットをメインユニットのブラケット取り付け部に差し込む

フロントガラスに貼り付ける前に大まかな角度調整を行ってから取り付けてください。

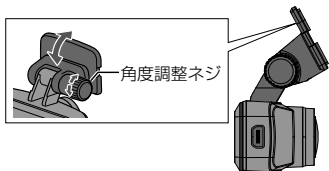


- 取り付け方向を間違えると、正しい角度でメインユニットを取り付けることができません。上の図のようにマークがLCD画面側になるように取付ブラケットをメインユニットに取り付けてください。

リアカメラを取り付ける

1. リアガラスに貼り付ける前に角度調整ネジを緩めて、大まかな角度調整を行う

角度調整が終了した後は、緩めたネジを締め直してください。配線後に実際の映像を見ながら再調整してください。

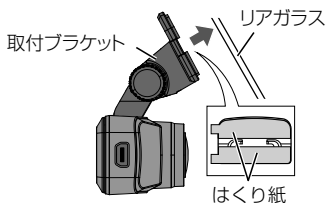


2. 「リアカメラ」(P.18) の推奨取り付け位置を参考にしてリアカメラの取り付け位置を決める

3. 市販のクリーニングクロスなどで取り付け場所の汚れや脂分をきれいに拭き取る

4. 取付ブラケットのはくり紙をはがし、リアガラスに押しつけて取付ブラケットを貼り付ける

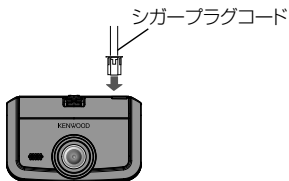
リアカメラ用の取付ブラケットは、取り付け後に上下方向の角度調整はできますが、左右方向の角度調整はできませんので注意してください。



- 熱線に取付ブラケットの両面テープを貼り付けないでください。両面テープをはがす際、熱線を破損させるおそれがあります。
- 両面テープの取り付け強度を強くするため、取り付け後 24 時間以上放置してから使用してください。
- 一度はがした両面テープは再利用できません。

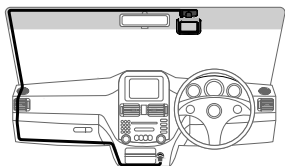
接続する

1. 付属のシガープラグコードのコネクタ側をメインユニットに接続する



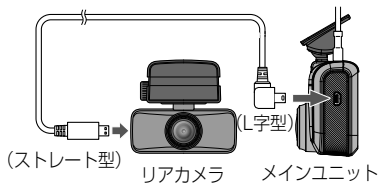
取り付け / 配線のしかた

2. プラグ側をアクセサリソケットに接続し、配線する → 「推奨取り付け位置」(P.17)

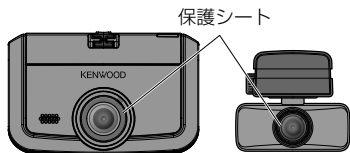


3. 付属のリアカメラケーブルでリアカメラとメインユニットを接続し、配線する → 「ケーブルの引き回し例」(P.18)

コネクタの形状(L字型/ストレート型)を確認してください。



4. カメラレンズの保護シートをはがす



カメラ調整

1. 画面切替ボタンを押して、メインユニットの映像に切り替える



2. メインユニットの角度を調整する
地上と空の比率が約5対5になることを推奨します。



3. 画面切替ボタンを押して、リアカメラの映像に切り替える

4. 画面を見ながら、リアカメラの取り付け角度を再調整する
地上と空の比率が約5対5になることを推奨します。

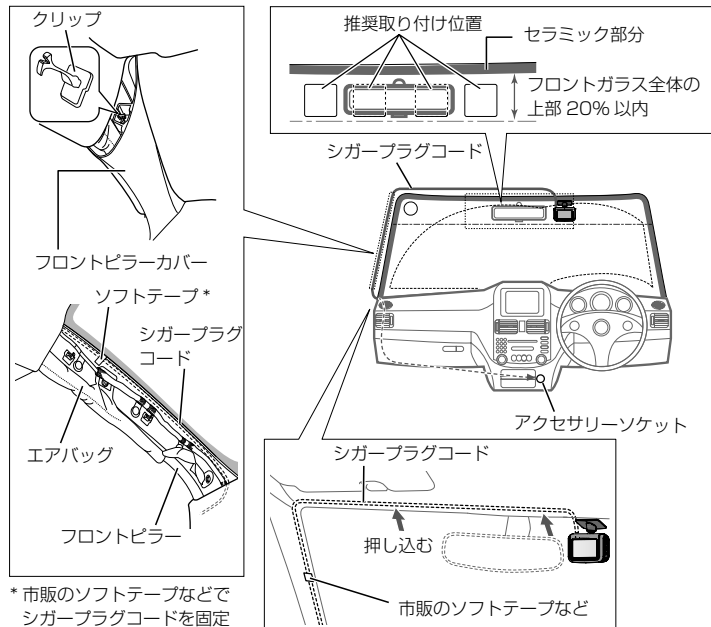


5. エンジンスイッチで電源を入れ直す
メインユニットの角度調整を行ったときは、必ずエンジンスイッチで電源を入れ直してください。調整した角度は電源が入ったときに記憶されます。

推奨取り付け位置

■ メインユニット

シガープラグコードの配線の引き直しを行ってください。



* 市販のソフトテープなどでシガープラグコードを固定します。

メモ

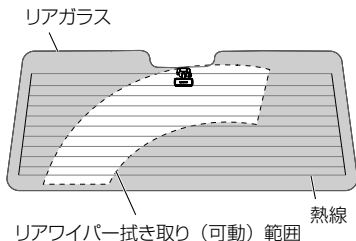
- 国土交通省の定める保安基準* に適合するように取り付けてください。
* 保安基準：道路運送車両の保安基準第 29 条（窓ガラス）
- ケーブル・コード類は運転やエアバッグ動作の妨げにならないように注意して取り付けてください。
- ケーブル・コード類は運転操作の妨げにならないように市販のソフトテープなどでまとめてください。

取り付け / 配線のしかた

- ・フロントピラーカバーが特殊クリップなどで固定されている車両の場合は、フロントピラーカバーを外すとクリップの交換が必要となる場合があります。フロントピラーカバーの外しかたや交換部品の有無など、詳しくは車両販売店にお問い合わせください。
- ・地デジやETC等のケーブル・コードといっしょに束ねないようにしてください。
- ・ケーブル・コードの配線をラジオアンテナの付近で行うと、ラジオの受信感度が下がることがあります。

■ リアカメラ

リアガラスに熱線がある場合は、熱線に取付ブラケットの両面テープを貼り付けしないでください。両面テープをはがす際、熱線を破損させるおそれがあります。



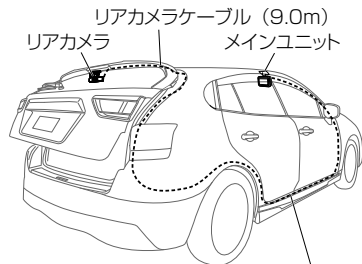
リアカメラはリアガラス上部の車両中心となる位置への取付を推奨します。後方視界補助ミラー等により推奨位置に取り付けできない場合は、後方急接近機能が正しく動作しないため、後方急接近警告機能をオフにしてください。

メモ

- ・リアガラスにフィルムが貼られている場合、フィルムの上から取り付けると、衝撃を受けた際にフィルムごと外れる可能性があります。本機を使用する場合は、フィルムを貼らないでください。

● ケーブルの引き回し例

ケーブルを引き回すときは、「メインユニット」(P.17)のメモに記載されている注意事項もご覧ください。



ドア開閉時、ケーブルの挟み込みに注意してください。

車載電源ケーブル CA-DR100(別売品)で接続する (駐車録画機能を使う場合の接続方法)



実施

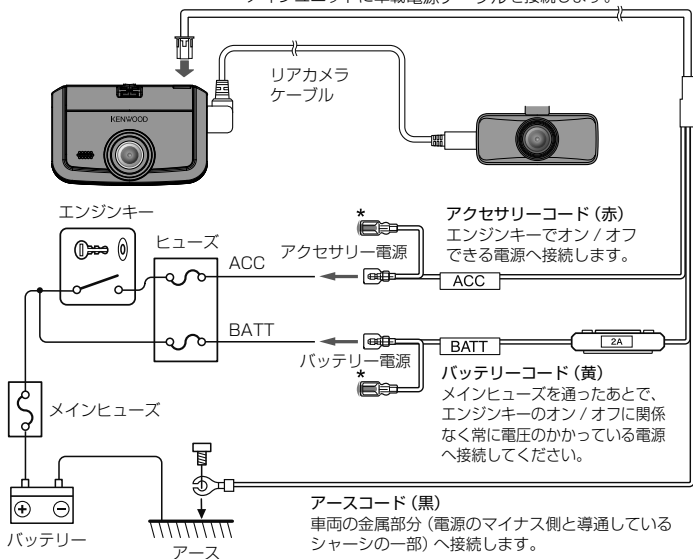
- ・初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

シガープラグコード(アクセサリソケット)を使用せずに接続できます。CA-DR100(別売品)で接続して、「ユーザーズガイド」(P.2)の「駐車モード設定」を「オン」にすると、エンジンキーをオフ後に駐車録画機能が有効になります。

1. 配線する

■ 配線のしかた (CA-DR100)

メインユニットに車載電源ケーブルを接続します。



*アクセサリコード、バッテリーコードが接続できます。
接続しない場合はキャップを外さないでください。

主な仕様

メインユニット

電源電圧	DC14.4V/28.8V (8.5V～30V)
録画時消費電流 (最大)	330mA (0.9A)
駐車録画待機時消費電流	280mA
測位衛星	GPS/QZSS (準天頂衛星) /GLONASS
G センサー	イベント記録設定：6段階/駐車録画設定：3段階
液晶サイズ	2.7V 型 フルカラーTFT 液晶
撮像素子	1/2.8 型 フルカラーCMOS
最大記録画角	水平：約 122° / 垂直：約 63° / 対角：約 149°
F 値	F1.9
HDR 機能	対応 (常時 ON)
動作温度範囲	-10℃～+60℃
最大記録解像度	FullHD(1920 × 1080) (動画約 207 万画素)
フレームレート	27.5fps (標準)、13.7fps (長時間 1)、1fps (長時間 2)
記録方式	常時録画 / イベント記録 / 手動録画 / 駐車録画 * * 駐車録画は別売りの「CA-DR100」が必要
常時録画ファイル単位	1 分 (標準)、2 分 (長時間 1)、24 分 (長時間 2)
録画フォーマット (動画)	H.264 (MP4)
録画フォーマット (静止画)	JPEG 準拠 (1920 × 1080)
記録映像再生方法	本体、もしくは専用ビューアースoftware対応 (当社ホームページよりダウンロード)
記録メディア	microSD カード 16GB～128GB 対応 アプリケーションパフォーマンスクラス A1 以上
外形寸法 (W) × (H) × (D) (突起物除く)	W : 86mm/H : 56mm/D : 37mm ブラケット (テープ貼り付け) 装着時高さ : 最大 86mm
質量 (重さ)	104g (ブラケット/ケーブル含まず、microSDカード含む)
電源ケーブル長	3.5m (シガープラグコード、ガラス管ヒューズφ5×L20mm 2Aを内蔵)

リアカメラ

撮影素子	1/2.8 型 フルカラーCMOS
最大記録画角	水平：約 122° / 垂直：約 63° / 対角：約 149°
F 値	F1.9
HDR 機能	対応 (常時 ON)
動作温度範囲	-10℃～+60℃
最大記録解像度	FullHD(1920 × 1080) (動画約 207 万画素)
フレームレート	27.5fps (標準)、13.7fps (長時間 1)、1fps (長時間 2)
外形寸法 (W) × (H) × (D) (突起物除く)	W : 60mm/H : 25mm/D : 29mm ブラケット (テープ貼付け) 装着時高さ : 最大 53mm
質量 (重さ)	28g (ブラケット/ケーブル含まず)
リアカメラケーブル長	9.0m

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

保証について

- 保証書 この製品には、保証書を添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間 お買い上げの日より 3 年です。

修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたは JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

- ホームページ
<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>
- JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター
0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)
0570-010-114 (携帯電話からはナビダイヤル)
045-450-8950 (一部 IP 電話など) / FAX 045-450-2308
受付時間などは、裏表紙を参照してください。

保証とアフターサービス

修理を依頼されるときは

「ユーザーズガイド」(P.2)の「故障かなと思ったら」または当社ホームページのFAQ(P.2)を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

● 補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 持込修理 この製品は持込修理とさせていただきます。

- 製品をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。(本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。)
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。
- 保証期間内外に関わらず、修理、点検のために製品を車両から取り外し、または取り付けの作業費用の負担、および作業のご依頼は承っておりません。

● 修理料金のしくみ(有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

- 技術料: 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代: 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

保証規定

1. 保証書に呈示の保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドサービスにて無料修理をさせていただきます。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。なお、修理に際しては必ず本保証書をご提示ください。

-
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
 4. ご贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。
 5. 次の場合には保証期間内でも有料になります。
 - (1) 本保証書のご提示のない場合。
 - (2) 本保証書に形名 / 製造番号の印字のない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - (3) 本保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - (4) 使用上の誤り、結露や水濡れあるいは不当な改造、修理、加工による故障および損傷。(取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、責任を負いません。)
 - (5) 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
 - (6) お買い上げ後の取り付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障および損傷。
 - (7) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障および損傷。
 - (8) 一般車載用途以外に使用された場合の故障および損傷。(例えば、業務用の長時間使用、船舶<船舶用製品を除く>、直流電源装置を用いた一般家庭での使用等)
 - (9) 製造番号の改変および、取り外した製品。
 - (10) 消耗部品 (例えば、SD メモリーカード、乾電池、充電池等) の交換。
 - (11) 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。
 - (12) 予告なく変更や追加される、あるいは規格の異なる記録媒体、アプリケーション、コンテンツ、放送および電源電圧による不具合。(インターネットを使用して提供されるサービスは、予告なく休止したり、サービス自体が終了されたりする場合がありますので、あらかじめご了承ください。)
 6. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
 7. 本保証書は、再発行しません。大切に保管してください。

※ 修理の内容は修理伝票に記載し、お渡しします。

※ 本保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。

※ 保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは本書の「**保証とアフターサービス**」をご覧ください。

※ 本保証書によって保証書を発行している者 (保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

形名／製造番号		※お買い上げ日	
DRV-G50W		年 月 日	
		保証期間 (お買い上げ日より)	
		本体： 3 年	
※お客様	お名前	公開用 様	
	ご住所 〒		
※販売店	店名・住所		
		電話番号 ()	

※印欄は必ずご記入ください。

お客様の正常なご使用状況で万が一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。

- 無料修理の条件について、詳しくは本ページ裏面の「保証規定」をご覧ください。
- 修理は、本保証書を添えてお買い上げの販売店または、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)

0570-010-114 (携帯電話からはナビダイヤル)

045-450-8950 (一部IP電話など) / FAX 045-450-2308

住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

受付時間 月曜～金曜：9:30～18:00

土曜：9:30～12:00、13:00～17:30

(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、
当社ホームページ (<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>)
または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。